

平成 28 年度 第 2 回 学校運営協議会 平成 29 年 3 月 7 日 19:00-20:25
～協議（意見交換）内容～

①学校評価アンケートについて

- ・大原野小学校の運営協議会でも、アンケート結果で生徒と教職員との意識の差が出ているという報告があった。
- ・「楽しく学校に通っている。」という数字が高いので、感動しました。
1 年 98 % 2 年 94 % 3 年 97 %
- ・大原野中で居心地がよいが、この先で試練が待っているのが気になる。（学校）
- ・高校で他校のいろんな生徒と混じって大丈夫だろうか心配になる。（学校）
- ・卒業生が「大学の進路が決まった。」と最近よく訪ねてくる。（学校）
- ・進路が決まった生徒の遅刻が増えている。（学校）高校も同じです。

②今年度の取組について

○環境整備について

- ・タータンは、すべるので危険だと思っていたので、撤去の方がいいと思う。
- ・雨降りの時にすべるので、舗装していただくと有り難い。

○小中連携について

- ・小中連携清掃活動で 45 リットルのゴミ袋 10 袋分のゴミを拾ってきた上里小での子供達の様子を見たが、よい行事だと思った。
- ・お習字の交流など一体感が出ていてよい。
- ・小中連携が様々な場面で増えていますね。
- ・大原野学園音楽会もみんな笑顔で良かったですね。
- ・子供達って、目的とかあれこれ考えなくても環境を整えると、化学反応を起こすのですね。（学校）

③その他（学校行事・地域行事など）

- ここ数年区民運動会に中学生もよく参加している。他の地域は中高生はあまり参加していませんけれども。
- 他の自治会では、なんでもくじ引きで役を決めるところがあるが、大原野自治会では、推薦などで決まっていくので、よいなと思っている。
- 高校では親子関係がよい。高校生が学校行事に親に「来て！」というので、結構保護者の来校がある。
- 息子と母親で仲が良い。娘も母親と仲が良い。
- 高校の卒業式のあとで、親子で写真を撮っている光景をみました。
- 親子の関係が友達のようにです。
- 仲良いのもよいが、どこかで離れるのも良い。
- 母親が子供のようにになっている場面もある。若い母親が何年も以前の母親とは違う。
- 回覧板をまわすのも、ポストインだが、回覧板を持って行って、手渡しすることに意味があると思う。（学校）
- 回覧板の枚数が多く、あまりみなさん読んでないようですね。メールの方がいい？
- 家の顔、外の顔いろいろ使いわけできる生徒がいる・・・